金沢一極集中から
広域連携による
周辺観光の推進

多様な人材を
活用する魅力ある
雇用の場の創出

若者のふるさと回帰を
進める移住定住の
生活環境づくり

結婚・子育ての
環境づくりと
支援の充実

待ったなし！
高齢化に対応する
諸施策の早急な実施

身近な生活の
利便性向上へ
インフラ整備

米澤賢司連合後援会からのお願い

平成11年の初当選以来、「未来創造」の旗を掲げて20年、われらが米澤賢司は県政の一翼を担い、多くの実績を積み上げてきました。
そして、平成27年の新幹線開業は石川県に多くの変化を促し、金沢をはじめ石川県は新しいステージを迎えようとしております。まさにこれからの数年が未来を定める大切な期間です。米澤賢司の20年の実績と培われた力を、私たちの明るい未来のために大いに役立てなければなりません。引き続き、米澤賢司を力強くご支援くださいますようお願いいたします。

米澤賢司連合後援会会長　畠 善昭

米澤賢司から支援者の皆様へ

平成29年3月、第99代石川県議会議長に選出され、平成30年3月27日まで1年余、後援会の皆様方の多大なるご支援に助けられ職務を全うすることが出来ました。在職中は、これまでに経験した事の無い貴重な事柄ばかりでした。
特に、6月の「みどりの愛護の集い」にご来県された皇太子殿下の行啓にご同行させて頂いたこと。更に、11月19日の「秋の園遊会」、1月1日の「新年祝賀の儀」に参列させて頂き、天皇陛下、皇太子殿下のお慈悲に満ちたお振舞いやお心遣いに深い感銘を頂きました。
他にも「新県立中央病院の開院」や「新県立図書館」、「金沢港の再整備」、「金沢城公園の鼠多門・橋の復元工事の着手」、「大和堆の違法操業対策」、「豪雪対策」など、数多くの節目に立ち会えたことは私の貴重な糧となっております。まさに新たな石川県のステージを目指す年でした。
これからも「生まれてよかった」「住んでよかった」を実感できる土台づくりに皆様方と共に歩んでまいります。
変わらぬご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

主な役職　石川県監査委員／石川県議会議会運営委員会委員長／自由民主党石川県支部連合会幹事長代理／自由民主党金沢支部副支部長／東部環状道路建設促進協議会理事長／金沢市城北地区開発促進同盟会副会長／金沢市北部地域開発促進同盟会副会長／石川県板金工業組合顧問／金沢市遺族連合会相談役／英霊にこたえる会金沢支部会長／金沢市農業協同組合小坂地区運営委員会委員長／石川県脊髄損傷者協会顧問／日本保育協会推進連盟石川県支部顧問／社会福祉法人わかば保育園理事／社会福祉法人達樹会理事／水墨画北水会顧問／北朝鮮拉致問題解決促進県議会議連副会長／石川県観光物産館相談役／夕日寺グランドゴルフクラブ顧問／石川県薬剤師連盟推薦／石川県医薬品配置協議会顧問 等

後援会討議資料

未来創造

安心して暮らせる未来を

石川県議会議員

米澤賢司

米澤賢司後援会事務所
〒920-0804 金沢市鳴和2-3-20　TEL 076-251-7772／FAX 076-251-5360
e-mail yoneken@maroon.plala.or.jp

豊かなさを望める安定した未来を

北陸新幹線の開業によって、私たちの金沢・石川は大きな変化の中にあります。
観光客や外国からの来訪者が激増し、新しい企業やお店が日々出現して、生活の環境も変わってきました。
この激しい変化に対応しながら、私たちの変わらぬ暮らしをいかに守っていくかが新たな課題となっています。
金沢の発展と並行して、緑豊かな安らぎのふるさと創りや、高齢化する中で誰もが楽しく働ける幅広い仕事づくりなど、安定した豊かな暮らしができるよう、バランスよく推進しなければなりません。
米澤賢司は県議として5期20年、金沢・石川のインフラや美観の整備、国内外からの交流促進、地場産業の育成とともに、一貫して緑豊かな潤いのある街づくりや、生活利便性の向上を目指し活動してきました。
日本を代表する豊かな文化都市「金沢」の更なる向上に、皆さんの力を合わせて実現しましょう。

米澤賢司（よねざわ けんじ） 20年の軌跡と課題

米澤賢司は、平成11年の初当選以来5期20年、県議会議員として活動し、道路整備や環境保全、伝統産業の振興、安全安心のまちづくりなどに努める傍ら、第99代石川県議会議長・県監査委員、更には県議会各委員会の委員長などを歴任してきました。
この20年間、金沢・石川の発展と皆様の暮らしを向上させるため、多くの提言と推進を行い、金沢の石川の豊かな未来を実現させるべく活動しています。

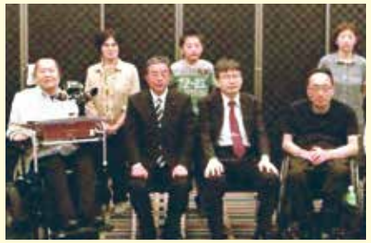
山側幹線道路の建設促進

東部環状道路建設促進協議会の理事長として精力的に推進し、平成18年暫定2車線の供用を開始。現在全線4車線化の工事中です。

中島大橋架け替え実現

城北地区の幹線道路である東大通りのボトルネックで交通渋滞をもたらしていた中島大橋は、平成29年より架け替え工事が進められ、32年完成予定です。

子育て支援・障害者支援の推進



かねてより制定を求めていた県の障害者差別解消条例が、いよいよ制定へ。また、脊髄損傷者へのサポートや安心できる結婚・子育て、高齢化対策を推進。

緊急医療体制の確立

能登から加賀まで南北に長く、高度医療機関が金沢に集中する石川県では、緊急の搬送手段が不可欠で、ドクターヘリの導入により多くの安心がもたらされました。

海側幹線道路の建設促進

海側幹線道路の建設を推進し、平成13年に着工。16年には1部供用が開始され、早期の全線開通を目指し、現在大河端町～福久町間の工事中。

金沢城復元と伝統的職人技術の活用

初当選以来取り組んできた金沢城の復元工事には、匠の技を持つ伝統的職人技術が活用され、現在、鼠多門・橋の復元が進められています。

国際交流による観光推進

インターナショナルスクールや韓国マスコミの招聘、南京金陵美術館と県立美術館の提携推進など、海外との交流促進に向けての活動も続いています。

里山保全と夕日寺健民自然園の整備

初当選以来取り組んできた里山保全活動。夕日寺健民自然園の更なる整備を目指し、体験型農園を含む里山構想の実現を目指しています。

県道清水小坂線の拡幅促進

就任以来のテーマの一つである県道清水小坂線の整備に奮闘。これからは、伝燈寺町周辺や東長江町の拡幅が残された課題です。

東京国立近代美術工芸館の移転整備

工芸王国石川にさらに厚みを増す国立近代美術館工芸館の兼六園周辺文化の森への移転は、2020年の開館を目指し準備が進められています。

金沢港クルーズターミナルの整備

日本海側のクルーズ拠点として金沢港の整備を図り、賑わい創出の核とする計画が進行中。すでに多くの実績をあげ、海外のクルーズ会社から注目されています。

金沢城北市民運動公園の整備など

初当選以来整備を目指した城北市民運動公園は、市民プールに続き屋内広場などの整備が進行中です。
この他、東山地区の無電柱化による環境美化や、桜丘高校の校舎建て替え等、米澤賢司は様々な地域の課題に対処し、多くの実績を残してきました。